

関係各位

血液凝固異常症全国調査のご協力のお願いとお知らせ

拝啓

初夏の候、皆さま方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、日ごろから厚生労働行政の推進にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

血液凝固異常症実態調査事業は、血液凝固異常症の病態を把握し、血液凝固異常症の治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、平成13年度から実施しており、今年度も血液凝固異常症全国調査運営委員会において本調査を実施することとなりました。調査の事務局は、昨年度と同様に公益財団法人エイズ予防財団が担当し、調査の集計作業は、聖マリアンナ医科大学小児科学名誉教授の瀧正志先生及び同大学小児科学非常勤講師の立浪忍先生に担当していただきます。

この調査の実施にあたり、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和5年3月27日一部改正版）及び同ガイダンス（令和6年4月1日一部改訂版）に基づき、各医療機関で本調査への情報提供に関する確認書の提出が必要となっております。この調査研究の重要性をご理解いただき、ご対応をいただくようお願い申し上げます。また、例年同様、可能な限り患者の皆さまから「同意書」の取得にご協力いただくとともに、当該情報の適切な管理を図っていただくよう併せてお願い申し上げます。

なお、令和7年度以降、一般社団法人日本血液凝固異常症調査研究機構が研究事務局となり、血液凝固異常症レジストリ共同研究が開始される予定であり、令和7年度からの本調査につきましては、当該研究と連携しつつ、これまでの調査票の内容を簡易なものに改め、継続いたします。詳細につきましては、別添のとおり同封しておりますのでご確認ください。例年、臨床医の皆さま方のご協力により貴重なデータを収集することができており、改めて厚く御礼申し上げますとともに、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、引き続き本調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和6年6月吉日

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課エイズ対策推進室